

本県は伐採適期のカラマツなどの森林資源が豊富にあり、県産材の利用促進が望まれる。県としての周知、人材確保・育成、木材加工施設の整備等の対策はいかがか。

(林務部長) ウッドチェンジへの機運醸成、林業の専門機関と連携した人材育成、大都市圏で需要が高まっている耐火集成材等の生産体制の強化など、木材製品の高付加価値化や生産性向上に必要な施設整備支援を行う。

本県は「重要伝統的建造物群保存地区」に、全国で2番目に多い7地区が指定されている。その他にも伝統的な建造物や古民家等が数多く存在している。長野県らしい景観を残しつつ耐震化や省エネ化を進めることも必要と考えるが、いかがか。

(建設部長) 伝統的建造物が残る地区や古民家等は、観光客や移住者を呼び込む貴重な地域資源だ。塩尻市木曾平沢地区では街並みの風景を損ねず信州健康ゼロエネ住宅のZEH化リフォームをした事例がある。耐震・防火対策を市町村と協議し支援する。長野県らしい景観を活かした持続可能なまちづくりは若者や移住者の共感を得られると考えるが、見解は。

(知事) 伝統的な街並みや建造物、景観は本県の魅力。妻籠、戸隠、下諏訪などは、地域の特徴を活かし魅力的なまちづくりを進め、若者を含め国内外から多くの方が訪れている。公・民・学が連携したまちづくり支援や景観保全に積極的に取り組む。

【子育て支援のあり方】

急激な少子化の対策として県が力を入れる取組は。

(こども若者局長) 県と市町村の「子育て支援合同検討チーム」での議論を踏まえ、子育て家庭の経済的負担を軽減する「子育て家庭応援プラン」を策定した。第3子以降の3歳未満児の保育料無償化、第2子を半額にするなど支援を拡充した。

核家族化・少子化で子育てが孤立化しており、保護者が保育士や保育施設に頼らざるを得ない状況にあり、保育士の負担が増大している。保育士の負担軽減策は。



奈良井宿（重要伝統的建造物群保存地区）

(こども若者局長) 令和5年度の県の調査から、発達に遅れのある児童への対応と保護者への対応が保育士の大きな負担であると把握している。保育業務を支援するシステム導入、職場の環境改善の相談・助言、保育所のICT化、保育補助者の活用促進等の取組をさらに進める。

目覚ましい発達段階にある乳幼児期には五感を使う活動が大切だが、スマホ・タブレットでインターネットやゲームに接する子どもが増えている。乳幼児のインターネット等の利用状況をどう把握しているか。

(健康福祉部長) 令和5年度の国の調査によると、2歳児は1日平均訳106分、5歳児は111分利用しており、動画視聴が多くなっている。市町村関係者等を通じて、保護者に向けて乳幼児のインターネット等の適正利用を啓発する。

地域の中で親がゆとりをもって子育てし、子育てを楽しめる環境づくりが必要と考える。県の取組や、社会全体で子育て環境を整備する取組について伺う。

(こども若者局長) 子育てを応援する社会実現に向けた機運醸成や支援策の取組は重要。市町村・企業のサポート協力を呼びかける。

子育てしやすい環境を整えるためには「子育て応援券制度」の導入等により、地域や民間が行う子育て支援サービスを充実させることが必要と考えるが、県の見解を伺う。

(知事) 地域や家庭の実情等に応じたきめ細やかな子育て支援サービスの充実は、大変重要と考える。本年度、県は「子ども・子育て応援市町村交付金」を創設した。各市町村が本交付金を活用して、「子育て応援券」やファミリーサポートセンターの利用料軽減を行うことが可能。県は本交付金事業を市町村と共有し、様々な場面で働きかけていく。

～ 県議会のトピック ～

産業観光企業委員会

今年度は「産業観光企業委員会」に所属し活動しています。同委員会では、産業労働部、観光スポーツ部、企業局を所管しています。委員会現地調査では、工業技術総合センターや安曇野市内のドローン企業、諏訪市の精密機械企業や諏訪湖サイクリングロードなどを視察しました。6月定例会では、女性・若者が働きやすい職場環境の整備、大阪・関西万博への催事出展計画、新規電源開発の取組等が議論されました。関連する事項についてもぜひお声がけください。

視察の様子（左：圃場整備事業視察、右：ドローン企業（安曇野市内）視察）



女子差別撤廃条約「選択議定書」の批准に関して

日本は、女子差別撤廃条約には批准していますが、条約の実効性を持たせる「選択議定書」を未だに批准していません。そのことから男女賃金差などの構造的な問題が是正されず、男女間の不均衡を示す国際的な指標である「ジェンダーギャップ指数」が世界146ヶ国中118位と大きく後れをとっている現状にあります。これを改善すべく、国に速やかな検討を求める意見書の提出を所属会派として県議会に提案し、各会派との調整を経て全会一致で可決しました。「女性・若者から選ばれる県づくり」を目指す長野県において大切な取組であり、6月には県議会と21の市町村議会が意見書を採択しました。県内で連絡会「ヤマを動かそう！信州」も発足し、まだ採択のない議会においても進められるよう勉強会にも取り組み、意見書の採択をサポートしていく予定です。

～ 県議会9月定例会の予定 ～

9/26(木) 開会、10/1(火)～4(金) 一般質問、10/7(月)～9(木) 各委員会、10/11(金)閉会

※YouTube「長野県議会チャンネル」で視聴可能です。ぜひご覧ください。↓こちらから。

<https://www.youtube.com/channel/UCjOgUhlve8wA9AoNiCWNWkG>